

ヤコブの手紙に見る「主の祈り」第一段落

■ ヤコブが12部族に主の知恵を教える手紙は、マタイ福音書の山上の説教の適用とも言える内容である。随所にイエスの教えが引用されるが、それは断片的ではない。手紙は大きく8つの段落に分かれるが、最初の1段落目、最後の8段落目では、特に、主の祈りで挙げられた課題を具体的に教えている。

ヤコブの手紙 第一段落 (1:1-15)

1 ¹神と主イエス・キリストのしもべ
ヤコブが、国外に散っている十二の
部族へあいさつを送ります。
2 私の兄弟たち。さまざまに **①**に会うときは、そ
れをこの上もない喜びと思いなさい。
3 信仰がためされると **②**が生じるということを、あ
なたがたは知っているからです。
4 その **②**を完全に働かせなさい。そうすれば、あな
たがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、
完全な者となります。
5 あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、そ
の人は、だれにでも借しげなく、とがめることなくお
与えになる神に **③**。そうすればきつと与えら
れます。
6 ただし、少しも疑わずに、信じて **③**。疑う
人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。
7 そういふ人は、主から何かをいただけると思っ
たりません。
8 そういふのは、二心のある人で、その歩道のすべ
てに安定を欠いた人です。
9 貧しい境遇にある兄弟は、自分の高い身分を誇り
としなさい。
10 富んでいる人は、自分が低くされることに誇りを持
ちなさい。なぜなら、富んでいる人は、草の花のよう
に過ぎ去って行くからです。
11 太陽が熱風を伴って上つて来ると、草を枯らしてし
まいます。すると、その花は落ち、美しい姿は滅びま
す。同じように、富んでいる人も、働きの最中に消え
て行くのです。
12 **①**に **②**人は幸いです。**②** 良しと認
められた人は、神を愛する者に約束された、いのち
の冠を受けるからです。
13 だれでも **④**会ったとき、神によって **④**された、
と言っはけません。神は悪に **④**されることにな
い方であり、ご自分でだれを **④**なさることもありま
せん。
14 人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、
④されるのです。
15 欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死を生みます。

- Q1. **①**に入れるのに適切な語はどれか。 1. 忍耐, 耐える 2. 願いなさい 3. 誘惑 4. 試練
- Q2. **②**に入れるのに適切な語はどれか。 1. 忍耐, 耐える 2. 願いなさい 3. 誘惑 4. 試練
- Q3. **③**に入れるのに適切な語はどれか。 1. 忍耐, 耐える 2. 願いなさい 3. 誘惑 4. 試練
- Q4. **④**に入れるのに適切な語はどれか。 1. 忍耐, 耐える 2. 願いなさい 3. 誘惑 4. 試練
- Q5. ヤコブの手紙 第一段落 (1:1-15)は、主の祈りのどの課題について教えるものか。

天にまします我らの父よ

1. 御名をあがめさせたまえ
 2. 御国を来たらせたまえ
 3. 御こころの天になるごとく、地上にもなさせたまえ
 4. 我らの日毎の糧を今日も与えたまえ
 5. 我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ
 6. 我らを試みに会あせず、悪より救い出したまえ
- 国と力と栄えとは限りなく汝のものなればなり